

野球少年をケガや故障から守ろう！

成長期野球障害の予防対策についてのシンポジウム

世界保健機構（WHO）は2000年から2010年を、「骨と関節の10年」と定め、運動機能障害からの開放を目指した運動を展開しています。

これに呼応し、本年度、茨城県整形外科医会では地域の野球選手・指導者の皆様を対象としたシンポジウムを行い、“前途ある選手達が、ケガや故障によってその競技人生を短くすることの無いようにするには、どのような取り組みをしていけばよいのか？”についての討論を行います。

参加資格は特にございませんので、野球の選手、指導者、関係者の皆様のご参加をお待ち致しております。

日時：平成18年10月7日（土） 15：00～

場所：つくば国際会議場 3F 中ホール300

Tel：029-861-0001

シンポジスト：

- ・ 投球動作の三次元解析研究からみた投げ方のメカニズム
筑波大学硬式野球部科学班リーダー：島田一志
- ・ 野球肘の手術による治療方法
筑波大学整形外科：西浦康正
- ・ 投球障害予防および治療への取り組み 社会人野球選手の視点から
NTT 東日本野球部選手：田中公浩
- ・ 投球障害の予防および治療への取り組み 投手と整形外科医の視点から
筑波大学硬式野球部チームドクター：馬見塚尚孝
- ・ 投球障害予防および治療への取り組み 高校野球の視点から
東洋大学附属牛久高等学校野球部監督：大野 久

後援・協力

「運動器の10年」日本委員会 ・ 茨城県体育協会 ・ 久光製薬株式会社